いわき市　復興ビジョン【概要版】

キャッチフレーズ　**～日本の復興を「いわき」から～**

## ー目的ー

復旧・復興によって、どんなまちを創るのか

前例のない複合災害に見舞われた福島県浜通り地域の拠点都市として、市民の安全・安心を最大限に確保し、震災前にも増して活力に満ち溢れた、世界に誇る復興再生モデルとなる持続可能なまち「いわき」を創る。

## ー理念ー

どのような考えのもとで事業に取り組み、目的を達成するか

理念１【連携】
「オールいわき」「オールジャパン」で事業に取組む

理念２【安心】
災害に強く、安全で、安心できるまちを目指す

理念３【活力】
前例のない複合災害からの再生モデルを世界に示す

理念４【魅力】
住む人も住む場所も世界から愛されるまちを目指す

理念５【挑戦】
原子力災害を克服するとともに、再生可能エネルギーの導入を推進し、原子力発電に依存しない社会を目指す

## ー取組の柱ー

目的達成に向けた主な施策

| | 復旧期 H23 ～ H25 | 復興期 ～ H27 | 主な取組み |
|---|---|---|---|
| 【取組の柱１】被災者の生活再建 | → | | ○一時提供住宅の確保<br>○恒久的な住宅の確保<br>○多様な雇用の創出と雇用確保<br>○被災者の心と体のケア<br>○市外へ避難している市民への情報発信<br>○市外から市内へ避難している方々への支援　　など |
| 【取組の柱２】生活環境の整備・充実 | → | | ○地域防災計画や津波ハザードマップ等の見直し<br>○もとの学校に戻れるよう教育環境の整備<br>○学校，保育所等の除染対策　　など |
| | → | → | ○地域医療体制の強化<br>○地域福祉の充実<br>○教育の質の向上、学力向上<br>○地域コミュニティの再生・強化<br>○災害の教訓、記録等の収集等と減災教育の活用<br>○芸術文化活動の支援　　など |
| 【取組の柱３】社会基盤の再生・強化 | → | | ○水道などのライフラインの復旧、耐震化<br>○災害ごみの効率的処理<br>○沿岸域等の土地利用計画の策定　　など |
| | → | → | ○避難地や避難道路の整備・確保<br>○小名浜港や基幹道路などの流通インフラの早期復旧・強化<br>○土砂災害の危険箇所の解消<br>○災害時を念頭においた幹線道路網の見直しと整備　　など |
| 【取組の柱４】経済・産業の再生・創造 | → | | ○共同仮設店舗・工場の設置など中小企業の再生・振興に向けた支援<br>○モニタリング体制整備やキャラバン等開催による風評被害の払拭　など |
| | → | → | ○農林水産業の再生に向け、専門機関等との連携による調査・研究<br>○再生可能エネルギー関連施設等の誘致、産業の集積<br>○放射線健康障害の治療・研究拠点の誘致、医療・福祉産業の集積<br>○国際会議やイベントの誘致・開催等による魅力の発信<br>○小名浜港周辺地域の一体的な整備・再生　　など |
| 【取組の柱５】復興の推進 | → | → | ○市の組織体制の再編・強化<br>○国、県、周辺自治体、まちづくり団体、高等教育機関等との連携<br>○復興や原子力発電所事故の収束に係る国県等の関係機関の誘致<br>○復興を担う地域の人材の育成や体制の構築<br>○復旧・復興に向けた予算の確保<br>○進捗状況の確認、取組みへの反映体制の構築　　など |

具体的な取組みについては、ここに示されていないものも含めて、市内の各界各層の代表者からなる「市復旧・復興計画検討市民委員会」での検討などを踏まえながら整理し、「復興事業計画」を策定する。